令和6年（2024年）度行政評価シート

令和6年6月21日

評価者	市民防災部長 永野英樹
-----	-------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	6-(3) 勤労者福祉	施策の方針	6-(3)-①労働環境の充実
目標とするまちの姿	就労支援の充実を通じ、市民のライフステージや希望に合った多様な働き方ができるようになるとともに、勤労者に対する福利厚生をはじめとする労働環境の整備も進んでいます。また、専門的な技能をもった技能者の育成・確保が図られています。			
主な取組	<p>(1) 就労支援の充実 高齢者や子育て・介護等で離職した方、障害者、ひきこもり状態にある方など、多様な世代や背景、課題を持った方々をはじめ、就職を目指す市民のライフステージやニーズに合った就労情報の提供や、相談・支援の充実、就労支援施策を推進します。</p> <p>(2) 労働環境の充実 雇用や労働環境に不安や不満を持つ勤労者に各種相談事業を実施するとともに、中小企業勤労者の福利厚生を総合的に行う湘南勤労者福祉サービスセンターを支援します。</p> <p>(3) 技能の奨励・啓発と継承 技能者の育成や後継者の確保に向けて、技能者への表彰や体験活動等による啓発活動を通じて、多様な技能への関心を高めることに努めます。</p>			

1. 前年度（評価対象年度）の当該施策の目標

市民防災部

相談体制の充実と就労支援事業の連携、就労支援システムの活用により、女性・高齢者・就職氷河期世代など様々な世代の就労支援を推進し、ライフステージや希望に合った働き方ができる「働くまち鎌倉」の実現につながるよう努める。
また、技能職者の社会的地位向上や後進の育成に対する支援も継続し、専門的な技能を持った技能者の育成・確保を図る。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	51,683	54,018	53,846	55,575		
人件費	26,298	26,878	26,907	27,187		
総事業費	77,981	80,896	80,753	82,762	0	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	市民-25	勤労者福利厚生事業		31,603	2,711	34,314	現状維持	A	現状維持
	市民-26	勤労者福祉支援事業		19,369	1,663	21,032	現状維持	A	現状維持
	市民-27	技能振興事業		569	6,365	6,934	現状維持	A	現状維持
重	市民-28	就労支援事業		4,034	16,448	20,482	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

市民防災部

ライフステージや希望に合った多様な働き方ができるよう、就職支援相談を実施した。
 また、若者、女性・高齢者・就職氷河期世代などの個別支援が必要な世代への就労支援を充実させるため、女性のキャリアセカンドステップセミナーや高齢者向け合同就職説明会などを実施するとともに、AIを活用した就労支援システム(かまくら版GBER)の運用を開始した。
 勤労者の福利厚生充実のための施策としては、中小企業退職金共済制度掛金補助や近隣市とともに中小企業向け福利厚生制度への運営費支援などを継続して支援した。
 技能職者の社会的地位向上や後進の育成に対する支援としては、参加者を増やす観点から収穫祭との同時開催とし、優秀技能者の表彰や技能職者の技能の周知のための技能祭を実施した。

※実施できなかった事業とその理由

実施できなかった事業は無し

5. 成果指標

成果指標①		希望する職場で就労できていると感じる市民の割合 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)						出典		市民アンケート調査	
令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考		
初期値	47.2	目標値	47.1	47.2	48.0	49.0	50.0	51.0	%		
		実績値	未実施	44.4	44.3	46.9					
		達成率	—	94.1%	92.3%	95.7%					
成果指標②		仕事と生活のバランスがとれていると感じている市民の割合 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)						出典		市民アンケート調査	
令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考		
初期値	52.5	目標値	52.4	52.5	53.0	54.0	55.0	56.0	%		
		実績値	未実施	55.2	55.4	56.3					
		達成率	—	105.1%	104.5%	104.3%					
成果指標③		市内の事業所における障害者就労者数						出典		所管課調べ	
令和元年9月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考		
初期値	625	目標値	674	765	865	865	865	865	人		
		実績値	669	883	791	820					
		達成率	99.3%	115.4%	91.4%	94.8%					

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

市民防災部

市民アンケート調査において、希望する職場で就労できていると感じている割合は目標数値に満たなかったが、昨年度より改善している。仕事と生活のバランスが取れていると感じている割合は目標を達成している。引き続き割合を高め、目標を達成するよう施策を推進する。
 従来から実施してきた女性や就労困難若年者に対する就職支援については、参加者数の確保が引き続き課題となっているため、周知や実施の方法を検討していく。
 また、参加者に対しては、事業終了後も情報提供や就職相談などのフォローアップをすることにより支援の強化に取り組み、達成率を上げるよう努める。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

市民防災部

勤労者福利厚生事業・勤労者福祉支援事業では、勤労者が融資制度や各種補助金等の実施により、生活環境の向上、福祉増進や福利厚生の充実を支援し、安心して働くことができる環境整備に貢献することができた。

技能振興事業では、技能功労者表彰や技能祭を実施するとともに、技能職者の活動を支援することで、後継者育成や技能の周知に寄与することができた。

就労支援事業では、就労者に対する労働相談やメンタルヘルスカウンセリングの実施、就労困難若年者に対する支援、女性・高齢者等の求職支援やキャリアカウンセリングによる就職支援相談の実施や、合同就職説明会を開催することにより、誰もがライフステージや希望に合った働き方ができる「働くまち鎌倉」の実現に寄与することができた。

8. 今後の方向性

市民防災部

就労支援事業では、女性や若者の求職支援事業の参加者が、ライフステージや希望に合った働き方ができるようフォローアップの充実に努める。

また、働き方に制約のある高齢者や女性などを主なターゲットにしたAIを活用した就労支援システム(かまくら版GBER)を運用し、資格や経験を活かしライフステージや希望に合った働き方ができるよう支援を実施していく。

技能職者の社会的地位向上や後継者育成に対する支援を継続し、専門的な技能を持った技能職者の育成・確保を図る。

9. 今年度(評価年度)の目標

市民防災部

勤労者の相談事業を実施するとともに、求職者に対する就職支援相談や就労支援事業を推進し、若年者・女性・高齢者などが、それぞれのライフステージや希望に合った働き方ができる「働くまち鎌倉」の実現につながるよう努める。

また、技能職者の社会的地位向上や後継者育成に対する支援を継続し、専門的な技能を持った技能職者の育成・確保を図る。